

市民の声

まごころ市長室レポート

市政に関するご意見を、市長が直接お聴きしました。主な議題を紹介します。

開催日：1月28日(月)

場所：春日住民センター

春日地域の良さを地元の人もっとわかってほしい
春日地域 田村政己さん

現在

春日地域の国道沿いには市内の人が経営する店がほとんどないこともあり、市内商工の活性化が必要だと感じています。たとえば、氷上高校生は農業・商業などの分野で非常にしっかりと技術勉強しているのに、黒井の商店街や駅前空いた店舗を借りて、花の苗などを実習販売してもらうのはどうでしょうか。高校生のパワーで商店街も元気になると思っています。また、大河ドラマ



市長と意見交換する田村さん

市長

氷上高校生を支援して、市民のみなさんと一緒に黒井駅前の活性化を図るといいですね。春日地域は観光の拠点として大きな伸びしろがあり、大切だと考えています。

丹波市で弓道を普及したい
春日地域 山里盛純さん

弓道

の競技人口は人口の0.06%が目安といわれており、丹波市の人口に当てはめると30人、40人になります。現在市内では約25人がクラブ会員として活動しており、今後さらに増やして、大会などが開催できればと考



穏やかに話す山里さん

市長

日本古来の伝統を受け継ぐことは大切ですね。目標として、競技人口を0.1%に増やす活動を頑張ってください。

撮りためた風景写真を役立てたい
市島地域 田中義隆さん

30年

ほど前から市内の風景写真を撮影している。これまでに白毫寺の九尺藤の写真撮って写真集を出したこともあります。写真を通して、市外にも丹波市のことを

市長

貴重な写真を提供いただけることはとてもありがたいです。丹波市の春夏秋冬はともきれいなので、必要に応じて写真を市の魅力発信に活用させていただきます。



写真を紹介する田中さん(写真右)

山を整備して子どもたちが遊べる場所をつくりたい
春日地域 青木美子さん

昨年

の3月から木の駅プロジェクトに参加して、私を有林を間伐して、子どもたちが安全に遊べる場所を作ろうとしています。これまでチェインソーの講習を受けて、主に土日山に入って間伐などの作業を行っています。ただ、

市長

ぜひ、このような活動は伸びてほしいと思います。「都市と農村の交流」を進めるためにも、大切な取り組みだと思います。里山整備のためにも、木の駅プロジェクトが機能する必要がありますね。薪の売り先確保が大きなポイントだと思います。



目標を語る青木さん

丹波市 地域おこし 協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

観光資源を活用した企画を立案

熊谷 篤さん vol.27

経歴：京都市出身。(株)日本交通公社(現在のJTB)に入社。早期退職し、訪日外国人対象の旅行会社を設立。

任期：平成29年5月～



こんにちは。熊谷です。市の観光資源を活用し、その魅力を発信することで、主に海外からお客様を呼び込む活動を行っています。

市内には魅力的な素材がたくさんあります。例えば、水田や稲穂が垂れ下がる様子は、欧米の方にとって見たことがない魅力的な風景です。市民の皆さんにとっては何でもない日常が、外国の方にとっては魅力的に感じられることがたくさんあります。その魅力を具体的な情報にして知ってもらうことが、お客様を呼び込む第1歩なのです。

このたび、市内に宿泊して、山登りをし、地元の食材を使ったおいしい朝食を食べるとい旅行商品を、地域の方々と一緒に考えました。現在は、前職の人脈などを生かして外

国の旅行会社に提案したり、外国の方が宿泊するホテルのコンシェルジュへの営業活動を行ったりしています。

協力隊3年の活動が実を結び、新年度から、丹波市への観光が実際に旅行商品として売り出されます。私の経験や知識、市外で生まれ育った目線が、市の観光の発展や地域の活性化につながれば大変嬉しく思います。



海外の旅行会社と商談中の熊谷隊員(左)

市長コラム

丹波語り

丹波市の歌初披露！



1月13日、丹波市の歌「このまちとともに」が成人式で初披露されました。作曲は、世界的に活躍しておられる作曲家の千住明先生にお願いし、その曲に合わせた歌詞を全国公募しました。その結果、北海道から九州まで多くの地域から合計563の作品が寄せられ、その中から丹波市在住の秋山知美さんの歌詞が最優秀作品として選ばれ、昨年末に完成しました。

秋山さんは、5年前の丹波市豪雨災害の時にボランティア活動で初めて丹波市を訪れ、そして丹波市の人・風土に惚れ込み、昨年移住された方です。題名「このまちとともに」には「故郷に対する限らない愛おしさ」と誇り」が織り込まれています。

いま、丹波市でも人口減少が激しくなっています。一人でも多くの若者にこの丹波市に残っ

て欲しいと私は思います。しかし、若い皆さんそれぞれには実現したい夢があるでしょう。そのためには、都会や世界に飛び出すことも必要です。残るもよし、飛び出すもよし。そんな若い皆さんへの応援歌が出来上がったのだ、と私は思っています。

この歌には「丹波市の地名や名所」などは歌詞にできません。日本中の誰もが、「自分の生まれ育った故郷に誇りと懐かしみを持って口ずさんでほしい」という強い思いがあるからです。

丹波市民の方々には、胸を張っていろんな場所で歌っていただけることを期待しています。



成人式で歌われた「このまちとともに」の楽譜

丹波市長谷口進一